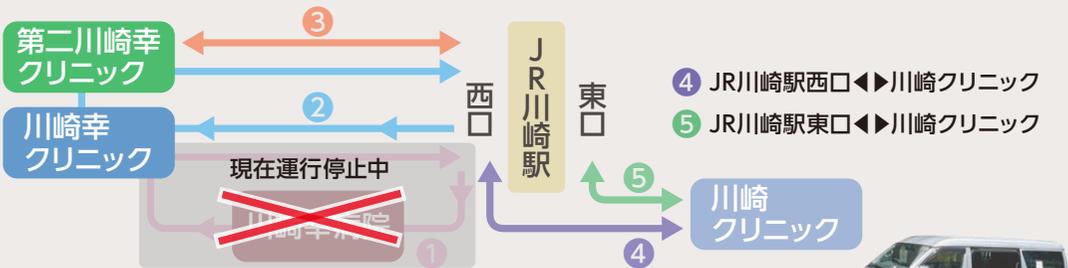


# あおぞら

川崎幸病院／さいわい鶴見病院／川崎幸クリニック／第二川崎幸クリニック／川崎クリニック／川崎健診クリニック／石心会グループ在宅事業部  
発行責任者：石井映暁 編集長：辻田征男 〒210-0024 川崎市川崎区日進町7-1 川崎日進町ビルディング3階 電話：04-4-381-3366 (代) <http://www.sekishinkai.or.jp>

JR川崎駅から各クリニックまでシャトルバスを運行しております、ご利用ください。

バスをご利用の方は、必ずマスクをつけてください。



シャトルバスは定員9名のワンボックスカーです。

- ① 現在運行停止中
- ② JR川崎駅西口▶川崎幸クリニック▶第二川崎幸クリニック▶JR川崎駅西口 循環
- ③ JR川崎駅西口◀▶第二川崎幸クリニック 循環

## ① 巡回バス (現在、運行停止中)

JR川崎駅西口⇒川崎幸病院⇒川崎幸クリニックの巡回コースでは、多くの方が乗り合わせることから、新型コロナウイルスの感染防止のために現在運行を停止しています。



川崎幸クリニック・第二川崎幸クリニック

定員9名

川崎クリニック

- ② JR川崎駅→川崎幸クリニック (1時間あたり2~5台運行)
- ② 川崎幸クリニック→第二川崎幸クリニック (1時間あたり1~3台運行)
- ③ 第二川崎幸クリニック→JR川崎駅直行使 (1時間1台)

<時刻表> (平日・土曜午前 ※土曜午後、日曜、祝日は運行なし)

	乗り場	月曜日～金曜日	土曜日
始発	JR川崎駅西口	8:15	8:15
最終	川崎幸クリニック	16:40	13:00
	第二川崎幸クリニック	17:00	

※ご利用される方々の状況により、到着時間が遅れる場合があります。  
※道路状況・利用状況により、所要時間が遅れる場合がございます。

- ④ 川崎クリニック ◀▶ 西口
- ⑤ 川崎クリニック ◀▶ 東口

運行は月～土曜日(祝日含む)、日曜日は運行していません。

時	川崎クリニック発 川崎駅西口行	川崎駅西口発 川崎クリニック行	川崎クリニック発 川崎駅東口行	川崎駅東口発 川崎クリニック行
8		15 45		15 30 45
9				
10				
11				
12				
13	30	45	20 40	30 50
14	00 30		00 20 40	
15	00		00	

※シャトルバスのご利用条件は、川崎クリニックにて外来受診した方および透析患者様となっております。バスへの乗降はご遠慮下さい。※川崎クリニック発西口シャトルをご利用の方で、川崎幸病院・川崎幸クリニックへご受診の方は、途中下車が可能です。運転手にご用命ください。※川崎クリニック発のシャトルバスは1F薬局側からの出発となります。出発前に御声掛け致しますので1F薬局横の待合室にてお待ち下さい。

救急・急性期医療・放射線治療

**川崎幸病院**  
TEL:044-544-4611(代)

一般外来(外科系・消化器系)

**第二川崎幸クリニック**  
外来予約:044-511-2112

人間ドック・生活習慣病健診

**アルファメディック・クリニック**  
予約:044-511-6116

入院・一般外来

**さいわい鶴見病院**  
外来予約:045-581-1417

一般外来・人工透析

**川崎クリニック**  
外来予約:044-222-9259  
透析センター:044-211-6500

企業健診・一般健診

**川崎健診クリニック**  
予約:044-511-6116

一般外来(内科系・小児科)

**川崎幸クリニック**  
外来予約:044-511-2112

一般外来・人工透析

**さいわい鹿島田クリニック**  
外来予約:044-556-2722

定位放射線治療・脳ドック

**新緑脳神経外科**  
TEL:045-355-3600

在宅事業部

在宅医療・在宅看護・在宅介護

さいわい訪問看護ステーション  
新川崎居宅介護支援事業所  
福祉用具レンタルさいわい  
かしまだ地域包括支援センター

いま求められる医療をもっと高めたい

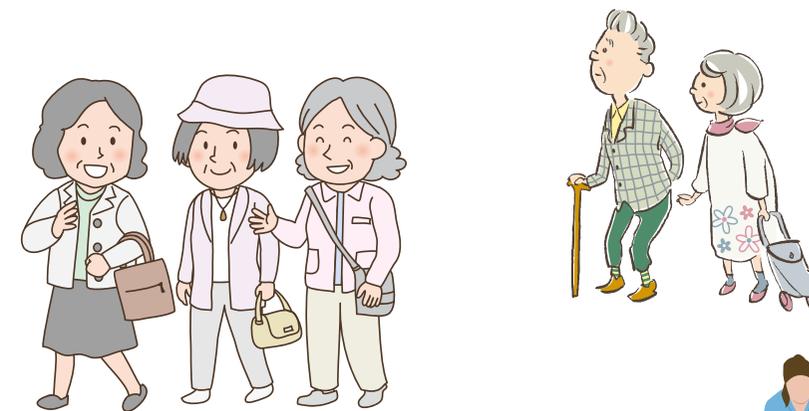
社会医療法人財団  
**石心会**



## 地域包括支援センターの役割 ～地域を支える～

# いつまでも住み慣れた 地域で過ごすために ～地域包括支援センター～

高齢化が進む日本では、65歳以上の人口は2042年の約3,900万人をピークに、その後も、75歳以上の人口割合は増加し続けることが予想されています。そして、『団塊の世代』が75歳以上を迎える2025年以降は、医療や介護の需要が、さらに増加すると見込まれています。



地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として全国に設置されています。

そして、厚生労働省では、2025年を目途に、高齢者の方が、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制『地域包括ケアシステム』の構築を推進しています。

一方で、当事者になってみないと分からない、知らなかったということが多い状況もあります。

そこで、『地域包括ケアシステム』の運用の核となる『地域包括支援センター』について、かしまだ地域包括支援センター・柳原智江所長(社会福祉士・主任介護支援専門員)、岡本裕香主任(地域支援強化要員・社会福祉士)、山下隆俊社会福祉士、霜越尚子看護師にお話を伺いました。



# 個々人の生活を支援する総合窓口として - 地域包括支援センターの業務内容

①

## 生活や介護に関する相談 (総合相談・支援業務)

- 医療・介護・福祉に関する総合的な相談
- 介護保険制度や利用方法の説明



②

## 権利を守る (権利擁護業務)

- 認知症の相談
- 虐待の防止予防や相談
- 消費者被害防止や相談



③

## 健康づくりサポート (介護予防マネジメント)

- 要支援1・2と認定された方、介護予防、日常生活支援総合事業の対象となる方のケアプランの作成
- 地域での健康づくりのお手伝い（健康教室の開催やサポート）



④

## 地域での協力体制づくり (包括的・継続的ケアマネジメント)

- 地域のケアマネジャーの支援や町内会、民生委員等と連携した地域の協力体制づくり
- 地域ケア会議の開催（高齢者の個別課題の解決に向けた検討や協力体制づくり）



## 地域包括支援センターとは？

**柳原：**高齢者（65才以上）とそのご家族の身近にある公的な相談窓口です。主任介護支援専門員、社会福祉士、看護師（保健師）等の専門職が対応します。

また介護保険の相談窓口でもありますので、40歳以上で第2号被保険者（40歳以上65歳未満の医療保険加入者）の方からのご相談も少なくありません。

様々な背景のある方がいらっしゃいますので、それぞれの個性を大事にし、その方にあった解決方法を検討していきます。

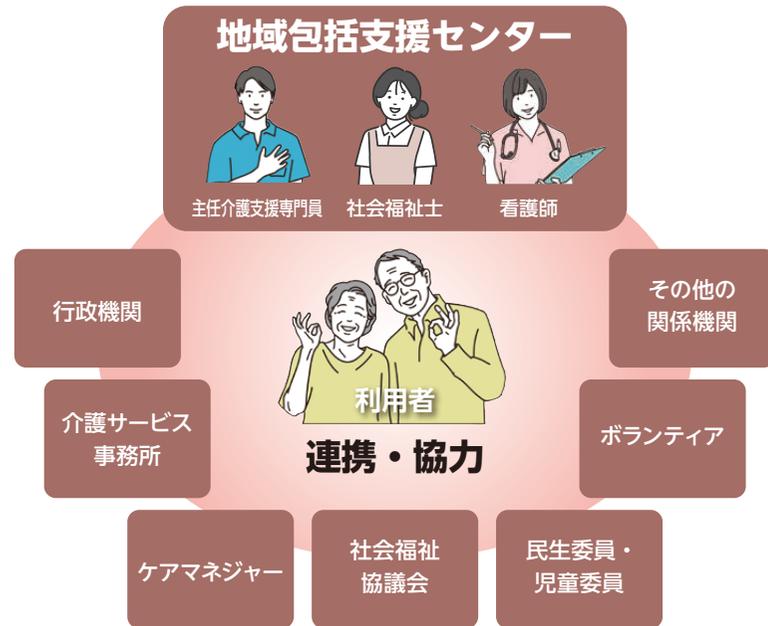
現在、高齢者の方も一人暮らしや高齢世帯の方が多く、医療サービスのみ、介護サービスのみで支えることは難しい状況です。そこで地域の方を含めた高齢者の方を支える仕組みやネットワークづくりも業務の大きな柱になっています。



## 職種を超えてチームで取り組む

### 地域包括支援センターは、どのように利用すれば良いのでしょうか？

柳原：地域包括支援センターは地区担当制となっており、利用される方の住所でご利用いただけるセンターが決まっています。ご利用の際は、区役所やWebサイト等でご確認ください。またご自宅への訪問、電話、センターでの面談など、利用される方に合わせた方法が可能です。そして、相談は無料です。秘密は厳守します。



### 主任介護支援専門員、社会福祉士、看護師（保健師）、地域支援強化要員の役割を教えてください。

#### 主任介護支援専門員

柳原：地域包括支援センターの主任介護専門員としては、地域のケアマネジャーが働きやすい環境・ネットワークづくりが主な業務になります。高齢者の方を支えるために、地域で何が必要か、ケアマネジャーと一緒に考えることを大切にしています。

#### 地域支援強化要員

岡本：『地域支援強化要員』は、主に地域包括ケアシステムを進めるために、個別支援と地域支援を一体的に考え、取り組んでいます。私たち「かしまだ地域包括支援センター」の場合、職種で業務を限定することがないため、職種の垣根を超えて『なんでもやる』ということが多いです。

#### 社会福祉士

山下：詐欺被害の防止のための啓発活動や実際、被害に遭われた方への対応を行います。また高齢者虐待の予防にも力を入れています。

高齢者の方の権利を守るため重要な役割を持つ成年後見人制度\*等、その時々に応じて役立つような制度に繋がられるように日頃から行政や各機関と連携をしています。

予防のための普及啓発の方法としては、各地域のイベントに参加し、新しいニュースをお知らせすることもありますが、注意喚起の記事を掲載した広報誌を配布することもあります。

以前は『寸劇』を行ったこともあります。方法を変えることで伝わりやすさも変わってきますので、いかに自分事として受け止めてもらえるか工夫して届けています。

\*知的障害・精神障害・認知症などによってひとりで決めることに不安や心配のある方が様々な契約や手続をする際に手伝いをする制度。



#### 看護師 または保健師

霜越：高齢者の場合、外見上は問題がないように見えるけれど、実は体の内側では問題が起きて進行している疾患もあります。

また他のスタッフが疾患を抱えた高齢者、ケガで動けない高齢者の課題を捉え、異常に気付けるよう、見るべきポイントを伝えます。

多くの方、健康に良い情報をご存知ですが、分かっても実行していないことも少なくありません。少しでも行動変容を促せるように、根拠をお伝えするように努めています。

他には、救急車を呼ぶべきかどうか悩んでいるとの相談も寄せられます。その場合、お話を聞いて、時には訪問して救急要請を行うかどうか助言することもあります。



## お気軽にご相談を

柳原：相手の方が、どのようなアプローチをしたらご負担なく受け入れていただけるか、迷いや揺れる気持ちに寄り添うことも大切だと考えています。

SOSを出すこと、相談をすることは勇気が必要なことです。それを無駄にしないために、その方には何が最適であるのか、どの方法が良いのかを考えて業務にあたっています。



### まずは確認

65才以上の方、又はその家族の方は  
**以下をチェック!**

- 家族や自分の介護について、心配なことがある
- 階段の昇り降りが大変になってきた
- 週に1回も外出しないことがある
- 前より「もの忘れ」が増えた
- 外出や人との交流が、以前よりおっくうになった
- 近所に、様子が気になる高齢者がいる



(参考：川崎市地域包括支援センターの案内より)

**早めの対応が大切です**

## かしまだ地域包括支援センタースタッフから 皆さんへのメッセージ



柳原 智江 所長(社会福祉士・主任介護支援専門員)

実際に利用する前に、ご自身のエリアの地域包括支援センターを知っておくだけでも、何かの時に役に立つと思いますので、是非一度お調べください。



山下 隆俊 社会福祉士

地域によってシステムが異なる場合がありますので、ご自身のエリア、ご家族のエリアとそれぞれ目を通しておくだけでもきっと役立つのでお勧めします。



岡本 裕香 主任(地域支援強化要員・社会福祉士)

色々な方の人生に立ち会う仕事なので、普段から色々な本や映画に触れるようにしています。これからも、勉強を続け、様々な立場や価値観のある皆さんに寄り添っていきたいと思います。



霜越 尚子 看護師

私は、仕事に取り組むにあたってご本人やご家族の強みや良い所を探すようにしています。強みや良い所を活かして、課題が少しでも解決に近づくと幸せな気持ちになりますので、今後もそのように取り組んでいきたいです。

### かしまだ地域包括支援センター

川崎市幸区新塚越201 ルリエ新川崎6階  
TEL:044-540-3222 (月~土/9時~17時)  
Webサイト



### 神奈川県内の地域包括支援センター一覧

神奈川県Webサイト  
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/cnt/f4301/>



## 川崎幸クリニック 小児科 夕方診療を始めました

川崎幸クリニック小児科が、月曜から金曜までの夕方診療を開始いたしました。

ご両親のお仕事終わりやお子さまの放課後、これまで時間が合わなかった方にもご利用いただけましたら幸いです。

●予防接種 16:00～16:30\*

●診察 16:30～18:00

	月	火	水	木	金	土	日	
午前	9:00～11:30						9:00～12:00	
午後	14:00～16:30						13:00～15:00	
夕診	16:00～18:00						×	×

\*予防接種は16:15までに受付(夕診はBCG不可)  
診療は予約制となっております。



川崎幸クリニック

●予約センター TEL:044-511-2112  
〒212-0016 神奈川県川崎市幸区南幸町1-27-1

小児科Webサイト



## 梶原悠未選手(石心会契約選手 自転車競技)が 母校に自転車用ヘルメット & 写真パネル寄贈



東京オリンピック 自転車競技 銀メダリストであり、石心会グループ契約選手の梶原悠未選手が2023年6月に母校である埼玉県和光市立第五小学校を訪問し、自転車用ヘルメットと自身の写真パネルを寄贈しました。

当日は、体育館に集まった全校生徒に対し、安全のためにヘルメットを着用することの重要性

や夢を持つことの大切さを伝えました。大声援で迎え入れられた梶原選手は生徒たちから活力をもらい、2024年に開催されるパリオリンピックへの出場と金メダル獲得に向け、今後は国際試合へ出場していきます。

『夢に向かって全力で楽しんで!命を大切に。』という直筆メッセージが書かれた写真パネルは、これからは小学校に飾られるとのことでした。



梶原悠未選手  
公式Web

<https://www.yumi-kajihara.com/>



## 私の街紹介

### ミュージザ川崎シンフォニーホール



ミュージザ川崎シンフォニーホールは、2004年に開館したヴァンヤード形式(中心にあるステージを客席が段々畑のように取り囲む)のコンサートホールです。

「交響曲」を意味する「シンフォニー」は「syn(～とともに)」+「phon(音)」を語源とし人と人が会し、奏でることによってつくられてきました。

ミュージザ川崎シンフォニーホールは「MUSIC+座」を意味する名称が示す通り、音楽によって、人が集まり、交わり、そして響く場所として、あらゆる人に音楽との多様な関わり方を提案し、川崎のまちを豊かに鳴らしていくことを目指します。

また、「音楽のまち・かわさき」のランドマークとして国内外に川崎を発信するとともに、心豊かで活力ある地域社会の形成に貢献し、市民の皆さんが愛着と誇りを感じられるよう様々な事業に取り組んでまいります。

#### 【イベント情報】

7月22日(土)～8月11日(金・祝)まで「フェスタサマーミュージザKAWASAKI2023」を開催いたします。日本トップレベルのオーケストラによる祭典として今年で19回目を迎え、川崎市内の音楽大学、ミュージザが誇るパイプオルガンの公演や、子どもたちを対象にした公演、バレエ、ジャズなどバラエティ豊かなコンサートをお贈りしています。お好きな公演を見つけてぜひご来場ください!

特設サイト: <https://www.kawasaki-sym-hall.jp/festa/>

#### 【施設情報】

名称:ミュージザ川崎シンフォニーホール  
所在地:川崎市幸区大宮町1310  
TEL:044-520-0100(代表)

WEBサイト: <https://www.kawasaki-sym-hall.jp/>



病院がつくった健康情報サイト

みんなの健康塾ちゃんねる

### 「みんなの健康塾ちゃんねる」情報

みんなの健康塾ちゃんねるは、地域の皆さんの健康維持・増進、疾病の早期発見・早期治療に役立てていただけるよう、また医療を身近に感じていただくことを目的に、健康・医療の情報発信をしております。

WEBサイトでは動画の他、トレーニングやレシピを掲載した冊子、学校向けダウンロード教材をご覧いただくことができます。また紙媒体毎月「みんなの健康塾ちゃんねるポケット版」を定期的に発行しております。

WEB 詳細はこちら

みんなの健康塾ちゃんねる 検索

LINE 公式LINEは

こちら

役に立つ  
メニューがいっぱい



注目のコンテンツ

救急医が伝えたい

熱中症  
ネッチュウジョウ  
の話



川崎幸病院 救急部  
高橋直樹医師



考案:川崎幸クリニック & 川崎クリニック 管理栄養士